

授業科目名	看護総合実習 I	担当教員名	教授 橋本 龍樹他		
開講年次及び学期	3年後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1
<b>授業概要</b>					
<p>本実習は、3年前期までに履修した知識、技術を統合し、模擬患者を用いた客観的臨床能力試験 (OSCE; objective structured clinical examination) である。提示された患者事例において、疾患の理解、フィジカルアセスメントの実施方法の確認、看護問題の明確化及び看護援助の立案について、まず自己学習を行う。それをもとに、事前にフィジカルアセスメントと清潔ケアの技術練習を行う。これらの習熟度について、知識は確認テストとフィジカルアセスメントと清潔ケアの技術については模擬患者を用いたOSCEによって評価する。同時に、医療従事者として、ふさわしい身だしなみをチェックする。</p>					
<b>G I O (教育目標)</b>					
<p>医療の高度化に伴い、多様化する患者のニーズに対して安全・安楽な看護を提供するためには、エビデンスに基づくアセスメント、それに基づく観察や看護の一連のプロセスを理解し、実施する必要がある。臨地実習が始まる前に、学生はこれまでの学習によって得られた知識と技術の習熟度について、模擬患者を用いたOSCEによって各自が確認することを目標とする。</p>					
<b>S B O (到達目標)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者に対してフィジカルアセスメントを用いながら、系統的に情報収集を行い、応用的事例の健康状態をアセスメントできる。</li> <li>2. 患者の看護問題を明確にし、個別性のある看護援助を立案できる。</li> <li>3. 導き出した看護援助を安全・安楽に留意して実施できる。</li> <li>4. 各領域別臨地実習に向けて、自己の課題を明確にし、課題解決の方法が理解できる。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b>					
<p>確認テストとOSCEの両方に合格することによって、単位を認定する。</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p></p>					

実習計画書

午前中

午後

月	確認テスト	再試験・自習	事例に関する知識を 確認のための試験
火	フィジカルアセスメント 身だしなみチェック	フィジカルアセスメント 身だしなみチェック	身だしなみチェック 問診・身体診察後、アセスメント を実施
水	清潔ケア	清潔ケア	患者の容態を観察しながら、 全身の清拭を実施
木	練習	フィジカルアセスメント・ 清潔ケアの再試験	OSCEに合格できなかった学生を 対象に、練習を行い、再試験
金	振り返り、後片付け、掃除		